

# e-ノズルフォルダー

PEH-50K・65K / PEH-40A・50A

## 取扱説明書

### 項目

1. 概要
2. 特徴
3. 仕様
4. 構造及び機能
5. 使用方法
6. 注意事項

お届けしましたe-ノズルフォルダーの性能を発揮し、より良い状態で  
永くご使用願うために、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。

## 1. 概要

このe-ノズルフォルダーは、独特な低反動デザインにより、従来のガンタイプノズルに接続する、もしくは管銃+ノズルの管銃部分と入れ替えるだけでノズルマンの負担となる放水反動力を低減させ、長時間の放水作業もサポートできる商品です。

本製品は各消防隊をはじめコンビナート消防隊の省力化も強力にサポートします。

## 2. 特長

- 1) 独特な低反動デザインにより、放水反動力を低減します。
- 2) ハンドル位置がノズル本体より上部にある為、腰付近での保持が可能です。  
そのため放水中にバランスを崩しにくい姿勢をとることができます。
- 3) ハンドルは、握り易いデザインとなっております。
- 4) 材質はアルミニウム合金（耐食表面処理）で軽量、コンパクトです。
- 5) ホース接続部は、差込式受金具となっておりますのでホース接続が容易にできます。

## 3. 仕様

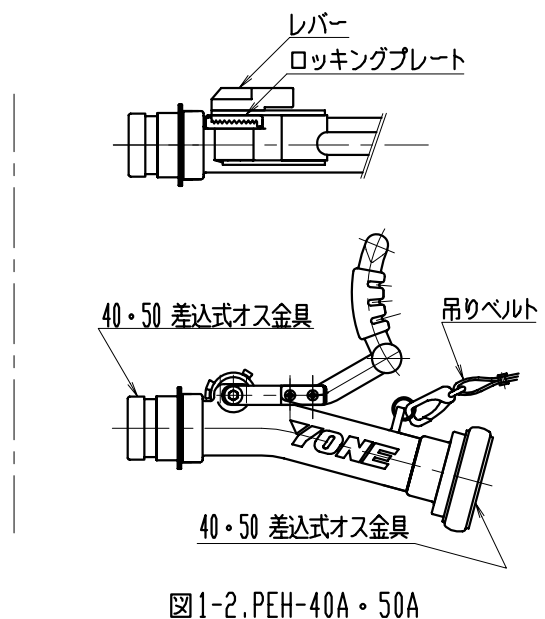
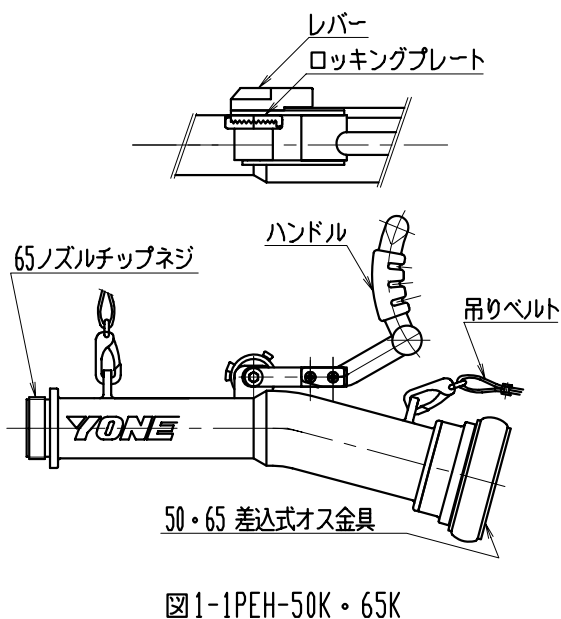
- 1) 名 称 : e-ノズルフォルダー
- 2) 型 式 : 管銃型・・・PEH-50K、PEH-65K  
ガンタイプノズル型・・・PEH-40A、PEH-50A
- 3) 接 続 □ : 下表参照

	型 式	一 次 側	二 次 側
管 銃 型	PEH-50K	50差込式受金具	65ノズルチップネジ
	PEH-65K	65差込式受金具	65ノズルチップネジ
ガンタイプ ノズル型	PEH-40A	40差込式受金具	40差込式差し金具
	PEH-50A	50差込式受金具	50差込式差し金具

- 5) 質 量 : PEH-50K・PEH-65K・・・約2.5kg / PEH-40A・PEH-50A・・・約2.0kg

## 4. 構造及び機能

- 1) 構 造 : 各名称は下図を参照下さい。



## 2) 機能

### 2-1) 基本原理

本製品は以下の様な原理に基づき作製する事で低反動デザインを実現しております。  
本製品は。

- ・ガンタイプノズル、管銃ノズル等では放水反動力は放射方向と逆向きに働きます。(図2-1参照)

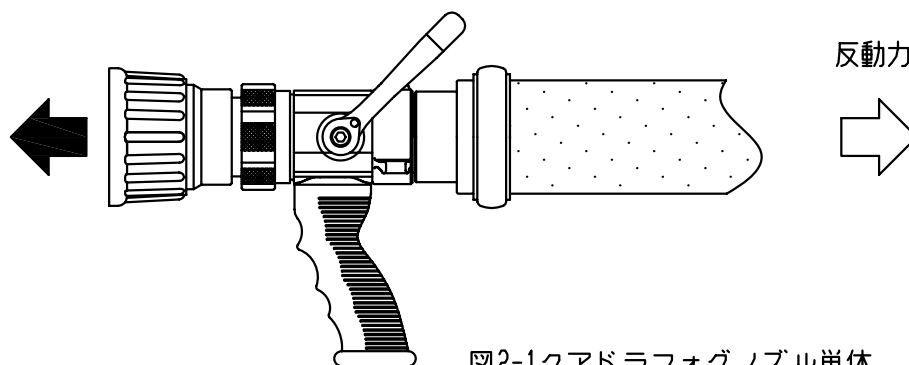


図2-1クアドラフォグノズル単体

- ・クアドラフォグノズル単体では長時間の放水では疲れてしまいます。
- ・e-ノズルフォルダーでは独自の形状により下図のように反動力を分けることができます。(図2-2参照)。

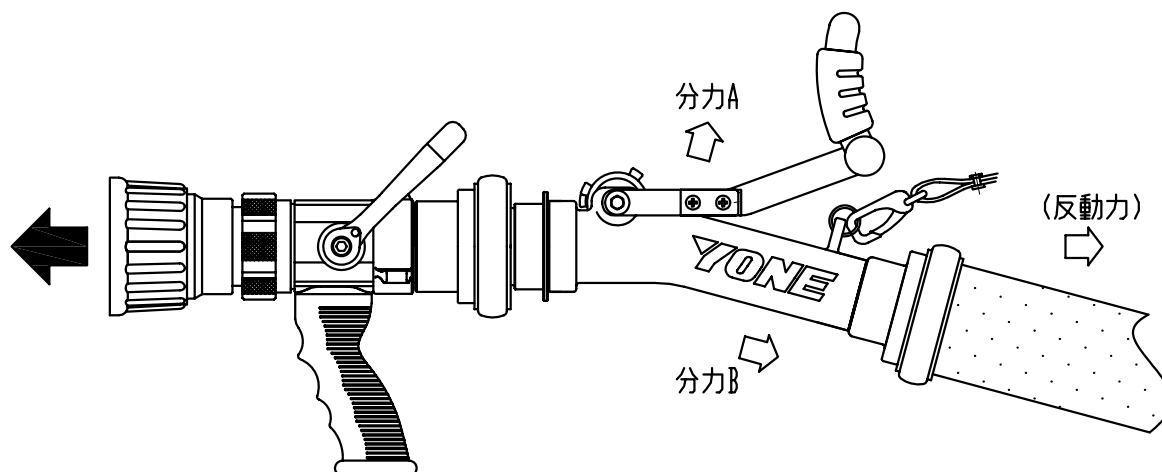


図2-2クアドラフォグノズル + PEH-40A・50A

- ・反動力は分力Aと分力Bとなり、分力Aは起き上がろうとする力、分力Bはホース方向への力となります。
- ・ここで加圧されたホースはe-ノズルフォルダーによって持ち上げられ、地面とホースの接地部には摩擦が生じこの摩擦抵抗(力B)となり分力Bを支える力となります。又、ホース自身の直進力(力A)が働き、分力Aを低減させることができます。
- ・上記のことからノズルマンは僅かなノズルの起き上がろうとする力を支えるだけです。

※ 結果的に疲労が少なく長時間放水が可能となります。

## 2) 機能

### 2-2) ハンドル位置調整

本製品はハンドル位置をノズルマン使用しやすい位置に調整できます。

#### ハンドル位置調整方法

- e-ノズルフォルダのレバー部を緩めて下さい。(図2-3参照)

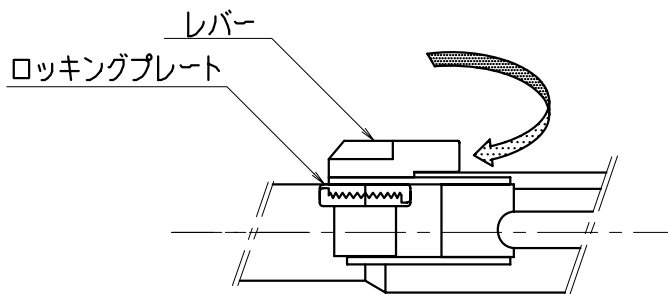


図2-3 レバー・ロックプレート部

- レバー部を緩めることにより連動してロックプレートも緩みます。
- ロックプレートは2枚の歯が噛み合っただけでロックする構造なのでレバーを緩めることにより、ロックプレートの自由度が出て緩まってきたことが感じ取れます。
- その状態でハンドルを前後に動かし、お好みの位置に調整して下さい。  
ハンドルの位置は約10°ずつ調整でき最大で100°変更することが出来ます。(図2-4参照)
- 調整後はレバー部を締め込み、ハンドルが動かないことを確認して下さい。

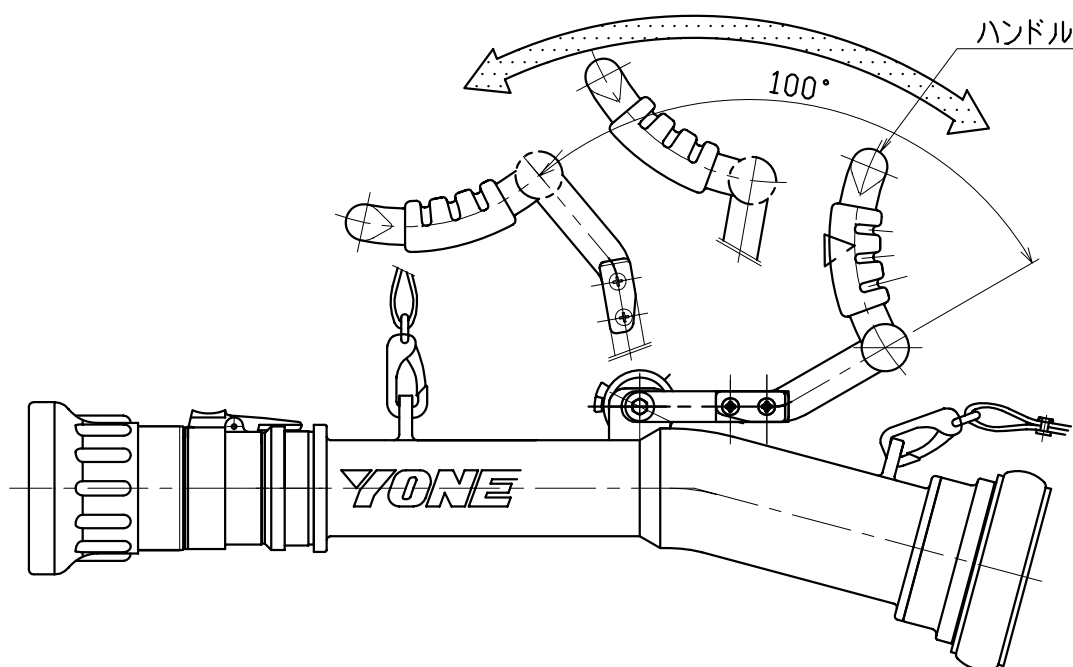


図2-4 ハンドル可動域(PEH-65K+ダブコン)

- 放水中は危険なのでハンドルの調整は行わないで下さい。

## 5. 使用方法

- 1) 放水前にノズルとしっかりと接続されていることを確認し、送水ホースに接続して下さい。  
(ノズルはガンタイプや管鎗用で接続方式が異なりますが、一様に確認して下さい。)
- 2) 片手でグリップを握り、もう一方の手でノズルをお持ち下さい。
- 3) バランスを崩さないようにしっかりと構え、放水して下さい。

## 6. 注意事項

### 1) 保守、点検

1. ノズル外観に損傷、緩み等のないことを確認して下さい。
2. レバーが正常に動く事、締まった状態でハンドルがガタ付かない事を必ず確認して下さい。  
※しっかりと締まっていない状態での使用は大変危険ですので止めて下さい。
3. 差込式受金具が正常であるか確認して下さい。  
(シメ輪の緩みツメの噛み込み等、外観目視でなく触って判断願います。)

### 2) 使用上の注意

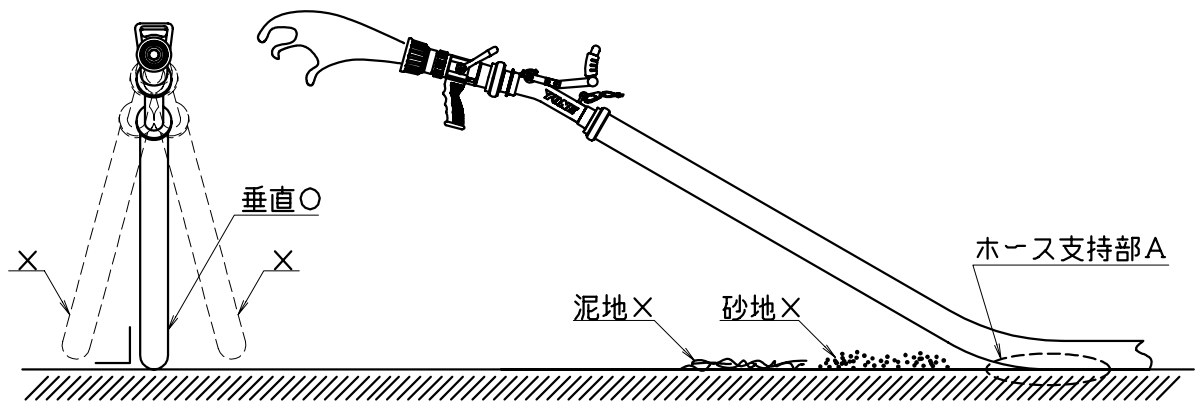


図3

1. 放水前に必ずノズル及びホースの接続部の確認を行って下さい。  
※ ノズルがしっかりと接続されていないと放水時に外れる恐れがあります。  
※ ホース金具がしっかりと接続されていないと放水時に外れる恐れがあります。  
※ ホース接続金具の確認は、音だけでなく引張って確認し ご使用下さい。
2. ノズルホルダーは反動力を低減する様に工夫されていますが、反動力の感じ方には個人差があるので保持位置等の確認も含め、事前に訓練して頂くようお願いします。
3. 放水時、ホース支持部Aの路面条件が悪い場合(砂地・泥地など)、ホースが後方に動く恐れがありますので注意願います。  
※ 路面状況に合わせた 放水圧力・流量で ご使用下さい。
4. 放水は地面に対して垂直に持ち放水して下さい。指示角度が悪いと反動力が地面に逃げず左右に振られる恐れがあります。(図3参照)  
※ なるべくホースをまっすぐ延ばすか、二人放水の場合、一人はホース支持部を保持して下さい。

**!** 使用後は清水で洗浄し、付着した土砂等を洗い流して下さい。

※ 万一、不適切なご使用による事故等が発生しましても責任を負いかねます。